

スプリングレビュー調書

公園緑地部

【基本政策】

みどり生活を愉しむまちづくり

【新たな視点による政策提案】

◆ 動物園とフラワーパークの一体化

第3次行財政改革推進審議会における、(財)浜松市フラワー・フルーツパーク公社の存廃を含めた審議結果を受け、動物園とフラワーパークを一体化し、市民の憩いの場・社会教育の場・観光誘客拠点として、新たな管理運営方式を導入し魅力度を高め再生していく。

◆ 都市計画公園の見直し

都市計画公園は、長期未着手の公園が残るなどの課題を抱えていることから、都市計画の見直しに着手することとなっていた。東日本大震災の経験から、防災・被災対応の新たな視点を取り入れ、都市計画の見直しを進める。

【第2次浜松市総合計画の計画期間(H23~26)における主要課題等】

- ◆ 市民との協働により、緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくりを進め、緑の保全育成や都市部の緑の創出、花と緑の啓発活動に取り組み「みどり生活を愉しむまちづくり」を推進する。
- ◆ 全国緑のカーテンフォーラムの開催をはじめとする緑のカーテンの普及事業を通して、温暖化対策への意識を啓発する。
- ◆ 多様化する市民ニーズを的確に捉え、市民の憩いの場となるみどり豊かな公園緑地を整備するとともに、歴史史跡の復原や防災施設の拡充を進める。
- ◆ 公園及び街路樹の適正かつ良好な維持管理、愛護団体の育成など市民協働による管理を推進し、市民に愛され親しまれる安全・安心で快適な公園緑地空間を提供する。
- ◆ 市民が楽しめる動物園とするため、創意と工夫を凝らした様々なイベントを企画・開催するとともに、展示・休憩施設等の再整備の検討を進める。
- ◆ 子どもの豊かな心を育てるため、動物園では、生命の大切さや尊さを伝える「生命(いのち)の教育事業」に取り組む。

【調査・研究を進めている案件、今後調査・研究を計画している案件】

- ◆ 動物園とフラワーパークの一体化に伴う「動植物園」の施設内容及び管理運営
- ◆ 浜松城公園がセントラルパークとしてふさわしい公園となるよう、中部中小中一貫校の配置、新美術館や文化ホールなどを有する文化創造ゾーンの形成など「浜松城公園全域の再生構想」
- ◆ 市民協働による新たな公園の管理運営のしくみづくり「市民協働パークマネジメント事業」
- ◆ 動物園に設置予定の「動物愛護・教育センター」に関する教育施設及び施設運営

【協議事項】(案件名を記入してください)

- ① 芝生広場浜松方式について

【現状と課題】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

- ◆ 現在整備している公園の芝生広場は、浜松の気候や土壌といった生育環境に加え、維持管理費を踏まえた成長特性や長年に渡る経験を参考に実施している。
- ◆ 芝生広場の利用の多様化や維持管理費の削減、様々な改良種の登場など、芝生を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、見直しや再検討が不可欠となってきた。

【課題解決に向けた今後の方向性】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

- ◆ 公園をはじめとするより良い芝生広場の整備を目的として、平成21・22年度に芝生実験を独自に試みたところである。
- ◆ 実験は、日本芝としてノシバ、改良ノシバ、コウライシバ、西洋芝としてバミューダグラス、センチピードグラス、セントオーガスチングラスの6種類の芝について、生育状況、価格及び管理面において調査した。実験地における結果ではあるが、日本芝の「ノシバ」、西洋芝では「バミューダグラス（播き芝）」が優れていたため、施工場所ごとに判断をしながら公園・広場の整備に活用する。
- ◆ 校庭の芝生化については、維持管理面での指導體制や地域の協力体制が必要であり、養生期間や設置場所によりスポーツ利用団体の承諾や授業に支障がないよう調整を図る必要がある。これらの条件が整った学校から、芝生実験結果を基に必要なに応じ検討していく。

【今後の主要事業】

(論点とすべき事業を下線で強調し、別途資料として政策・事業シートを添付してください)

- ◆ 実験結果として従来から採用してきた「ノシバ」の優位性が立証されたため、今後も公園の芝生広場には「ノシバ」を採用する。また、サッカー場などの運動施設には、「バミューダグラス（播き芝）」を採用する。
- ◆ 利用頻度の高い広場の芝生化は適切な施工と管理があつて成り立つものであり、適切な芝種の選択に加え、散水施設などの施設整備とボランティアに依存しない管理体制の構築が不可欠である。
- ◆ 市全体で芝生化を進めていくには、導入箇所の選定、利用の調整など課を越えた連携を行うとともに、芝生化の推進、助言及び管理アドバイスができる専門機関が主体となる体制の確立が必要である。
- ◆ 今後、調整が可能な施設を選定のうへ試験導入し、実態を把握することによって「浜松方式」を模索していきたい。

【論点】

- ◆ 施設の芝生化に関する課題について
 - モデル施設の提案

【協議要旨】

- ◆ 幼稚園や保育園などにおいて、園庭の芝生化をモデル的に実施する。

【協議事項】(案件名を記入してください)

- ② 平成 24 年度からの浜松城公園、遠州灘海浜公園の指定管理者制度導入について

【現状と課題】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

【浜松城公園】

- ◆ 浜松城公園 管理運営 (財)浜松公園緑地協会が委託業務契約
- ◆ 浜松城天守閣 管理運営 指定管理者が業務契約
(所管：観光交流課、条例所管：公園課)
- ◆ 入城者数推移 H15 70,848 人 H16 84,509 人 H17 80,243 人 H18 94,509
H19 106,948 人 H20 112,025 人 H21 143,250 人
- ◆ 浜松城公園と浜松城天守閣は、一体的な指定管理者制度の導入が望ましい。

【遠州灘海浜公園】

- ◆ 遠州灘海浜公園 (白羽・中田島) 管理業務 (有)メットが委託業務契約
- ◆ 江之島水泳場 運営管理業務委託は、(財)浜松市体育協会が受託
- ◆ 屋内温水プール 利用者数 H20 60,255 人 H21 51,745 人 H22 40,352 人
耐震性能評価ランクⅢ(Is 値 0.39) 耐震性が劣り安全上課題がある。
耐震補強と老朽化施設の改修費用 約 4 億円
供用開始後約 40 年を経過し施設・設備の老朽化が顕著
※廃止した場合、児童・25mプール運営方法の検討が必要。(チケット売り場・更衣室・ロッカールーム・シャワー設備の新設、料金設定、委託契約等)
- ◆ 児童・25mプール 開放期間 (7/1～8/31)
利用者数 H20 5,676 人 H21 4,292 人 H22 4,474 人
※動線部分の擁壁が傾き、プール内の塗装に亀裂、給水設備から漏水があり、ろ過装置等の老朽化も著しい。

【課題解決に向けた今後の方向性】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

【浜松城公園】浜松城と浜松城公園の一体的な指定管理者制度の導入【遠州灘海浜公園】白羽・中田島の指定管理者制度の導入

- ◆ 江之島水泳場は、老朽化により指定管理者制度の導入が難しいため、委託契約を継続する。
- ◆ 児童プール・25mプールは、市議会建設委員会 (H20. 8. 25)、南区協議会 (H20. 10. 31)、市議会定例会 (H21. 3. 11) で、継続利用の方向となっていたが、それ以降、老朽化が顕著となり、今後の施設のあり方について検討する。

【今後の主要事業】

(論点とすべき事業を下線で強調し、別途資料として政策・事業シートを添付してください)

- ◆ 遠州灘海浜公園 (白羽・中田島) の指定管理者制度導入にかかる調整
- ◆ 遠州灘海浜公園 (江之島水泳場) の委託契約
江之島水泳場 (温水プール、児童・25mプール) の今後について ⇒ 南区協議会 (地元説明会)、議会等との調整、条例改正

【論点】

- ◆ 浜松城公園の指定管理者制度について
 - 浜松城公園と浜松城天守閣の一体的な管理の導入
- ◆ 遠州灘海浜公園の管理について
 - 江之島水泳場の今後について

【協議要旨】

- ◆ 浜松城公園を誘客施設として活性化させるため、指定管理だけでなく、今後の再整備計画を含めて全体としてどう進めるかを検討する。
- ◆ 江之島水泳場の今後について地元と調整を進める。